

回生 ニュース

K a i s e i N e w s

特定医療法人斎寿会回生病院

49号

2009.11月発行

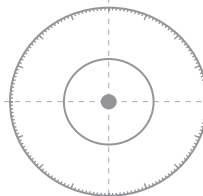
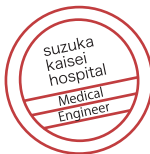
発行/特定医療法人斎寿会回生病院
編集/鈴鹿回生病院
所在地/鈴鹿市国府町112番地1
TEL/059-375-1212
FAX/059-375-1717
URL/http://www.kaiseihp.com
編集協力/TCK Nagoya

- 1 医療の現場から
臨床工学技士の役割紹介
- 2 あなたの街のお医者さん
「おざき内科クリニック」
- 3 鈴鹿回生病院診療担当医師一覧表
鈴鹿回生病院専門外来担当医師一覧表
- 4 交通案内(三重交通バス・シャトルバス時刻表)
鈴鹿回生病院附属クリニック診療担当医師一覧表
鈴鹿回生病院附属クリニック専門外来担当医師一覧表
- 5 健康コーナー「医食動源」
・シリーズ スポーツ障害～ジャンパー膝～
・れんこんと豚肉のはさみ焼き
- 6 回生.com
「スポーツ外来にエコー検査導入」
- 7 Information
 - ・第1回亀山市脳卒中市民講座開催
 - ・脳深部刺激療法
 - ・中学生職業体験
 - ・認定資格を取得しました
 - ・当院研修医の加藤祥医師が最優秀賞!!

臨床工学技士の

役割紹介

Medical Engineer



関 剛 (せきたけし)

皆さんは、臨床工学技士が病院にとって どんな役割を担っているかご存知ですか？

臨床工学技士とは、人の命に直結した各種の生命維持管理装置の操作と保守点検を行う医療機器の専門職です。病院の中には医師や看護師の他に、レントゲン・CT・MRIなどを扱う放射線技師、血液や細菌検査・心電図や脳波などの検査を行う臨床検査技師、リハビリテーションを行う理学療法士・作業療法士などが働いています。今号で紹介する『臨床工学技士』も病院で働く医療技術者です。医師以外の診療補助に従事する看護師や各種の医療技術者のことをメディカルと呼び、臨床工学技士もそのひとつです。年々進歩する医療において不可欠な医療機器のスペシャリストであり、医療機器の安全確保と有効性維持の担い手としてチーム医療に貢献しています。

臨床工学技士の制度ができたのは比較的新しく、1987年「臨床工学技士法」に基づく医学と工学の両面を兼ね備えた国家資格として制定されました。



■ 当院の臨床工学技士2名に話を聞きました。

■ 臨床工学技士はどんな仕事？

臨床工学技士は、こういった職種なのか、簡単に言うと、病院内にある医療機器を扱う仕事で、いわば医療機器の専門家です。病院内には、いろいろな医療機器があります。人工呼吸器、輸液ポンプ、人工透析装置、人工心肺装置、ペースメーカーなど、生命を維持するための機器がそれに当たります。それら进行操作したり、点検や、修理なども行っています。例えば医療機器のアラームが鳴り続けている、作動できないなどの連絡が入ると、現場に向かい異常箇所をみつけて改善させています。また改善できなければメーカーに送るなどの対応も行っています。



■ 普段心がけていることは？

医療が日々進化するように、医療機器も日々進化しています。そのためメーカー側が行う研修会などにも頻繁に参加し、知識を深め、教育の充実や修理コストの

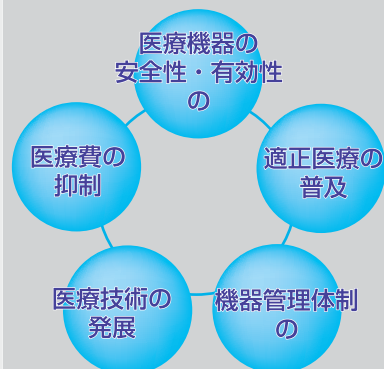


上村 佳央 (うえむらよしひさ)

削減に努めています。次に、事故を未然に防ぐために医療機器の点検を年間スケジュールに沿って行っています。また、人工呼吸器を使用している患者さんや患者さんのご家族と接する機会もありますので、その際には安心感を与えるよう、わかりやすい説明を心がけています。

社会的使命

昨今の高度な医療技術の進歩に伴い、医療機器の高度化・複雑化が一層進むなか、社会は臨床工学技士の更なる活躍を求めているのです。



連携医療機関紹介

おざき内科クリニック



院長の尾崎郁夫先生

早いもので開院15年

近鉄三日市駅から西へ1キロほどのところにおざき内科クリニックはあります。清潔感あふれる院内の一角には、スリッパを脱いであがるリラックススペースが。そこにはおもちゃが用意されているのでお子さんの待ち時間を退屈させません。内科、小児科領域全般において、診断・治療を行っており、レントゲン、心電図検査、内視鏡検査等、各種設備、装置をたずさえ、あらゆる健康相談に対応しています。また、疾病予防のため、各種健診・予防注射を行い、さらに食事指導・運動療法など生活習慣の改善のための指導を行っています。



院長の尾崎郁夫先生は昭和56年信州大学医学部をご卒業後、稲沢市民病院、磐田市民病院、四日市市民病院などで勤務医を経て平成6年8月1日にこの地に開業されました。伺った日は開院15周年のお祝いの花（胡蝶蘭）が飾られていました。

現在、先生を筆頭に看護師さん4名、事務員さん4名の9人体制で診療しています。勤務医時代は腎臓内科を専門とされていた先生。透析医療などにたずさわる中、治療を受ける患者さんには高齢者も多く、通院が困難な方をたくさん診て来られた経験から、開業して在宅医療ができれば、と思っておられたそうです。開業当時は在宅医療を行うクリニックは少なく、とても喜ばれたといいます。現在も、体が不自由で通院困難な方には積極的に往診を行い、在宅で療養されている方には他の介護サービス機関と連携を取りながら、地域に密着したかかりつけ医として活躍されています。



医師は体力勝負

先生に、病診連携について伺いました。「鈴鹿市は医療の役割分担、すなわち病診連携がスムーズになってきたと思ってます。私自身も、かかりつけ医としてやるべきことはこなしているつもりです。雇われた病気が重く入院治療が必要な方や、さらなる精密検査が必要な方には、必要に応じた病院を紹介させていただきます。紹介先の病院の先生と密に連携をとりながら診ていくこともします」と積極的に病診連携に取り組まれています。クリニックの上がご自宅なので、夜中に患者さんを診ることもあるそうです。「昔はそれが当たり前だったんだけどね」と話す先生。医師は体力勝負!!と出来る限りスポーツジムで体力づくりは欠かしません。そんな先生の趣味は・・・

DATA

TEL 059-370-5119

住所

鈴鹿市岡田三丁目20-28

診療科目

●内科●胃腸科●循環器科●小児科

診療時間

午前／9時00分～12時00分

午後／4時00分～7時00分

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	×
午後	○	○	○	×	○	▲	×

▲土曜午後は2時00分から5時00分

休診日

木曜午後、日曜、祝日



「趣味は特にはないですけど、しいて言えばサッカーが好きですね。名古屋まで観戦に行ったりします。スポーツ観戦はストレス発散になります。医者仲間でもフットサルチームにも参加していますが、最高齢です(笑)。回生病院のフットサルチームと戦ったこともあるんですよ」と笑顔で話してくださいました。地域の皆さんが、安心してかかれる地域のかかりつけ医として今後も活躍されることでしょう。



スポーツ外来にエコー検査導入

超音波（エコー）検査は内科・外科・産婦人科領域では一般的な検査となっていますが、近年、エコーの機能向上とともに整形外科領域でもその有用性が注目されております。鈴鹿回生病院附属クリニックでは水曜日午後（1：30～）のスポーツ外来にてエコー検査を取り入れ、検査・治療に役立てております。今までは、リアルタイムにその損傷程度、治療課程を評価することが難しかった肉離れや筋挫傷、腱断裂（特にアキレス腱断裂）、足関節や膝内側側副靭帯などの靭帯断裂、肩板損傷を外来時に評価することができます。また、エコーを併用することにより腱周囲炎などに対し、ステロイドや局所麻酔薬などの注射をピンポイントですることができます。スポーツ疾患で診断・治療が難渋している患者さんに少しでもお役に立てればと考えております。



診察の様子



超音波（エコー）



エコー画像拡大図

ご意見箱にお答えします。

Q 言葉づかい、また対応が事務的で、優しいいたわりの気持ちを感じられない人が目立つようです。相手の立場に立ち、対応してほしいと思います。特に病院は必要です。

A 不愉快な思いをさせ申し訳ございませんでした。患者さんの気持ちになり対応を心掛けるよう指導してまいります。

◆◆ お褒めの言葉をいただきました ◆◆

10/3の夕食。うさぎが餅をついている絵ハガキ付きでびっくりしました。子どもの頃を思い出しながら楽しくいただきました。いろんな方が入院されており、何とも言えませんが、私自身は今後もこういう楽しい企画をお願いします。

A お褒めのお言葉ありがとうございます。これからも毎日の食事を美味しく提供できるよう、心をこめて食事サービスを行ってまいります。

シリーズ スポーツ障害

～ジャンパー膝（膝蓋腱炎）に対するケア～



リハビリテーション課
作業療法士
泉 圭太

ジャンパー膝は大腿四頭筋をはじめとする膝伸展機構への繰り返しのストレスにより生じる膝のスポーツ障害の一つです。バレーボールのようなジャンプ系スポーツや急激なストップや方向転換を行うバスケットボール、サッカーなどを行っている10～20代の男女に多くみられます。症状によりますが以下の内容が主なケアとなります。

01. 患部アイシング



練習後や痛みを感じてからすぐに行うのがベストです。まずビニール袋に氷と水をいれ、肌に直接触れないようにタオルなどをかまして冷やします。時間の目安は10～20分です。

02. 大腿四頭筋のストレッチング



片方の膝を曲げ、太ももを伸ばすようにゆっくりと上体を倒し、20～30秒ほど行います。

Point スポーツ動作の見直し

患部のケア以外に普段ランニングやストップ、着地姿勢が後方中心になっていないかなどの動作姿勢を見直すことが再発予防のポイントになります。

準備する物

- 氷と水
- タオル
- 氷のうまたはビニール袋

発信@

栄養管理室

管理栄養士
堀川真由美



ピックアップ食材
れんこん

れんこんと豚肉の
はさみ焼き



●れんこん

ハスの地下茎が大きくなったもので、穴が開いていることから“先を見通す”と縁起の良い食べ物とされています。体を動かすエネルギーになる糖質やビタミンC、食物繊維などが多く含まれています。ビタミンCは熱に不安定なため損失しやすい成分ですが、れんこんにはでんぷんが多いので加熱しても比較的多く残ると言われています。ビタミンCは熱の他、光や空気に弱いので泥つきのまま新聞紙に包んで冷暗所で保存すると良いでしょう。

●他の食材との組み合わせ

今回れんこんと組み合わせた豚肉にはビタミンB1が多く含まれています。ビタミンB1は糖質からエネルギーを作り出すのに必要である他、皮膚や粘膜の健康維持を助ける働きをしてくれます。最近では精製されたものが多いこともあり、ビタミンB1は摂取しにくくなっているため、主食を7分つき米や玄米・胚芽米に変えると良いでしょう。ビタミンB1の吸収はニラやにんにくなどに含まれるアリシンという成分によって高まります。ビタミンCは肉や魚、卵、大豆製品などに多く含まれるたんぱく質を組み合わせることで風邪を始めとする感染症に効果的です。

【材料】4人分

- レンコン …… 1節 (250g)
- 豚ひき肉 …… 200g
- おから …… 大さじ2
なければパン粉で代用可能です
- 卵 …… 1個
- えのき …… 1袋 (100g)
- ニラ …… 1/2束
- オイスターソース …… 小さじ2
- 塩こしょう …… 少々
- 片栗粉 …… 適量
- 赤味噌 …… 大さじ1
- しょうゆ …… 小さじ1
- 酒 …… 小さじ1
- 砂糖 …… 大さじ1
- 豆板醤 …… 小さじ1/2
- 水 …… 小さじ2
- ごま油 …… 大さじ1
- にんにく …… 1かけ
- しょうが …… 1かけ
- ニンジン …… 1/2本

【栄養成分】1人分

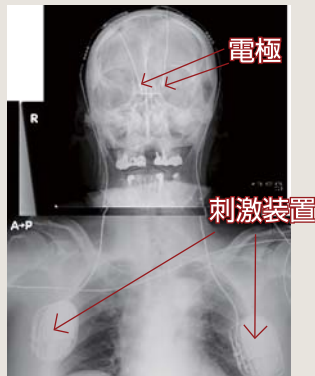
- エネルギー …… 280kcal
- たんぱく質 …… 14.0g
- 脂質 …… 14.4g
- 塩分 …… 1.3g
- 食物繊維 …… 4.1g

【作り方】

- れんこんは皮をむき、5mm位の厚さの輪切りにして酢水につける。
- えのきだけはいづきを落とし、細かく切る。
- ニラは細かく切る。
- 豚ひき肉、おから、卵、えのきだけ、ニラ、オイスターソース、塩こしょうを合わせて混ぜる。
- にんにく、しょうがの皮をむき、みじん切りにする。
- Aを合わせておく。
- れんこんの片面に片栗粉を薄くつけ、④をはさむ。
- フライパンにごま油を入れ、にんにくとしょうがを炒めて香りが出たら⑦を入れて焼く。
- 両面に焦げ目がついたら少量の水をいれ、蒸し焼きにする。
- ⑥の合わせ調味料を入れて味をつける。
- 乱切りにした人参を茹でて添える。

脳深部刺激療法

当院では、神経内科、脳神経外科が合同で、パーキンソン病や不随意運動などを対象とした、脳深部刺激療法を行っています。定位脳手術の技法を用いて、視床下核などの脳内構造に電極を留置し、刺激装置を体内（前胸部）に埋め込み刺激を行います。脳のペースメーカーの様なものです。この治療により、運動機能や不随意運動の改善が得られます。パーキンソン病では、薬の効果が不安定な方や内服の回数が多くて煩雑な方などはよい適応であると思われます。詳細な適応、方法などについては下記までご相談ください。



TEL: 059-375-1286 (直通) 鈴鹿回生病院附属クリニック 神経内科外来受付まで
E-mail: matsura@kaiseihp.com 担当 (神経内科) 松浦まで

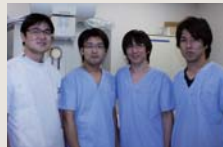
中学生職業体験

今年も平田野中学校の生徒さん4名が職業体験に訪れました。「とても緊張しました」と話す学生達もそれぞれに生の看護体験から何かを学んだようで、看護の仕事に興味があった当院を希望しましたという生徒さんからは、「自分の思っていた事と違う点や、看護の大変さ、そして楽しさを感じる事ができました。今回の経験を活かして将来の事をしっかりと考えたいです」と話してくれました。



認定資格を取得しました

今年度、検査技術向上のために4名の診療放射線技師が認定試験を受験し、胃がん検診専門技師に丹羽・松谷・福田技師、血管撮影専門診療放射線技師に澤山技師が合格しました。これらの知識を活かして専門技術向上に取り組み診療に役立てます。



第35回日本整形外科スポーツ医学会 学術集会において優秀な成績を 収めました。

去る9月25日(金)群馬県で開催された第35回日本整形外科スポーツ医学会学術集会において、当院の研修医である加藤祥医師が最優秀賞を獲得しました。



病院のボランティアの方に毎週美しく生けていただいております。(病院玄関)

編集後記

今回は「臨床工学技士の役割紹介」を中心に、医療連携紹介などをお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。

鈴鹿回生病院 広報委員会
〒513-8505
三重県鈴鹿市国府町112番地
TEL059-375-1212
✉ mail:info@kaiseihp.com

今号の

お知らせ

テーマ
よくわかる脳卒中

毎年ご好評のもと行われています鈴鹿市脳卒中市民講座ですが、今回下記のとおり第1回亀山市脳卒中市民講座を開催する事が決定いたしました。当院副院長金丸医師をはじめとする数名の脳卒中専門医により脳卒中に関する話題をわかりやすく講演いたします。先生方との質疑応答の時間も設けています。お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

日時:平成21年11月15日(日) 13:00~
場所:亀山市文化会館

入場無料



開設の理念

生命への奉仕

- ▶ 地域の基幹病院として皆さんの医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 患者さんの生命と個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し 患者さん中心の医療を行います
- ▶ 医療の質を向上させ 時代の要請する医療水準を保ちます

病院の方針

- ▶ 誰もが適切な医療を平等に受けられるようにします
- ▶ 診療内容・医療情報を適切に説明し 患者さんが最適な医療を選択できるようにします
- ▶ 医療環境を整備し 快適に診療が受けられるようにします

私たちの目標